

NEXT INFO

③

最終出展申込締切迫る！

2月27日（金）までメールにてお申込ください

フォトグラファーとしてさらなる高みを！

新たなステップアップの機会に

昨今の PHOTO NEXT の出展傾向を見ると、1社単独ブースよりも共同で出展して総合力を發揮している動きが見られます。キッズ衣装を扱う業者が集まって大きなブースを構えている例もあれば、撮影からプリントまでトータルソリューションを提案しているケースもあります。

商品展示に加え、その具体的な活用方法や成功事例をセミナーなどを通じて積極的に情報発信しているブースには、常に多くの来場者が集まっている印象を受けます。

出張撮影のマッチングサイトが台頭したことで、ママフォトグラファーをはじめフリーランスとして活動する人口が増加しました。これにより、記念撮影の需要は大きく伸びました。一方で、差別化やブランディングが重要視される時代に入っています。

子ども写真チェーンも、新たな舵を取っている印象を受けます。ベビーやキッズは少子化により、撮影のパイは縮小の一途を辿っているため、成人振袖やビジネスポートレート、さらにはシニアフォトの分野も視野に入れて取り組むなど多様化してきました。価格競争が巻き起こることもありますが、これに影響されないように、ペットや料理など人物以外の撮影領域にシフトするフォトグラファーも見られます。



フォトグラファーとして活動する人が増加するなかで、いかに差別化を図っていくかが求められている（写真はイメージ）

いまあらためて考えたい プロとしての撮影ビジネス

フォトグラファーの神社での撮影マナーが未だ問題視されています。マナー講座を行なうフォトグラファーもいますが、そういう機会を設けないと理解できない人がいるという実情は問題視せざるを得ません。

デジタルカメラの多機能化に始まり、AIによる利便性の高い環境は、フォトグラファーにさまざまな可能性をもたらしています。そうしたなかで「プロの定義」とは何かを考えると、いかに「クリエイティブ」な発想や行動を実践できているか、がポイントに挙げられます。

今の時代のフォトグラファーに求められることは何か。以前と同じような活動は、もはや通用しな

いのか。その答えは「撮影することの意義」にあります。そこが明確化されているか否かで、撮影ビジネスへの向き合い方は変わってくるのではないのでしょうか。

先日、物撮りをメインに活動するフォトグラファーから以下のような連絡がありました。「仕事がバツティングしたので物撮りフォトグラファーを探したのだが、おしゃれには撮れるけど、ある程度のクオリティとちゃんとコミュニケーションがとれる人が見つからなかった」そうです。

本人曰く、現場の実感として「紹介できる人が少ない」と感じるのは、専門性や設備（スタジオ、照明、ライティング技術）を必要とする物撮りというニッチなスキルセットの市場が、相対的に縮小および流動化している傾向にあることを懸念していました。せっか

く依頼のあった仕事も、紹介できる人がいないために断るケースもあるようです。

SNSで声をかけると「撮ったことはないけど物撮りやります！」という反応が返ってくることもあるんだそうです。一方で反射物や精密な質感、表現よりも「おしゃれに撮れたらOK」という風潮もあります。医療機器や建築資材のような、ガチガチな物撮りを行なう人材は、もはや貴重な存在になっています。

こんな話も聞きました。「フォトグラファーの売り込みが来るので面談をしたところ、ライティングをしたことがないとか、照明機材を持っていないとか、そもそもカメラやレンズを複数持っているほうが珍しい…という話を聞いて辟易した」。確かに、そういうレベルで仕事を受けようとする勇氣、理解力や思考力は、プロとしていかなるものでしょうか。

これまで主催者が発行する月刊誌「スタジオNOW」では、マルチに活動したり、新しい思考で撮影ビジネスに取り組むフォトグラファーなどを取材してきました。良いところ、参考にしたいところは真似るべき。そこからオリジナリティが生まれることもあります。今年のPHOTONEXTも、さまざまなスタイルで活動するフォトグラファーによる、セミナーを中心とした企画プログラムを用意。新たなステップを踏みきかけとなれば幸いです。

新規出展 INFO

ハンドメイド愛情プロップス lapis lazuli

～ニューボーンフォト小道具店～



lapis lazuli は、生後間もない赤ちゃんの神秘的で愛らしい姿を撮影する「ニューボーンフォト」のフォトグラファーさん向けに、プロップス（小道具や衣装）を販売しているハンドメイドショップです。出産経験のある日本人ママ・ハンドメイド作家が1つひとつ丁寧に、愛情を込めて製作しております。

弊店は発足4年目のまだ新しいショップではありますが、作家たちはそれぞれ得意な分野で活躍をしてきたメンバーです。ニューボーンフォトに出会い、小さくて可愛い小物たちを作ることによって幸せを感じながら活動させていただいております。

ハンドメイドプロップスを直接見て購入できる場はとても少な

く、対面販売会へのご要望も多くいただいております。そこで毎年、ニューボーンフォトグラファーさんが多く集まっていられるPHOTONEXTさんに出展することになりました。

お作りさせていただいているプロップスはヘッドバンド、ボンネット、ピロー（本体・カバー式）、ドレスやロンパース・セットアップ衣装など多岐にわたります。マシンが得意な作家、編み物が得意な作家それぞれ在籍しておりますので、種類も品数もいつも豊富にご用意しております。

オンライン販売ではふわふわ加減、生地感、お色味などお伝えしにくいことがたくさんございます。直接見て触って選んでいただける場、皆さまがお集まりいただ



いている場でお会いできることを楽しみにしております。是非、当日はラピスのブースにもお立ち寄り下さい。お待ちしております。

詳細およびお問い合わせは、右記まで。

Instagram
@lapis_newborn_props
HP
<https://lapisprops.thebase.in/>
Mail
lapis.props@gmail.com

新規出展 INFO

『使われ続ける衣装・プロップス』の価値を発信 ～ SKmori ～



ニューボーンフォトやマタニティフォト向けの衣装・プロップスを中心に、すべて一点一点ハンドメイドで制作しているブランドSKmoriは、赤ちゃんや家族にとっての「安心・安全」を第一に考えながら、繰り返しの撮影や洗濯にも耐え、フォトグラファーが長く安心して使い続けられる品質を大切にしています。「写真として残したときに、柔らかさや物語を感じられるデザインを心がけています」といいます。

「PHOTONEXTは撮影に関わるプロフェッショナルの皆さまと直接つながり、作品づくりへの想

いやアイデアを共有できる、特別な場だと感じています。実際に手に取って素材感や縫製の細部をご覧いただき、現場で『使われ続ける衣装・プロップス』としての価値をお伝えしたいと思い、出展を決めました」

ブースでは、ニューボーン向け衣装やアクセサリーに加え、1歳・3歳・5歳・7歳の子どもの衣装も紹介予定。「写真に写る一瞬が、より温かく、記憶に残るものになる、そんな撮影のお手伝いのできれば幸いです。ぜひお気軽に、SKmoriのブースへお立ち寄りください」



詳細およびお問い合わせは、
Instagram : @sk.mori.jp、

Mail : sk.jp.studio@gmail.com へ。

NEXT INFO

引き続き、最新情報は公式サイトにてご確認ください

今後の更新予定

- ①主催者新企画コーナー
- ②セミナーイベントプログラム
- ③会場マップ・出展社ブース・アウトレット情報
- ④ 2026 メインビジュアル



《PHOTONEXT 情報満載の月刊誌》

撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオNOW」。最新トレンドのほか、会期に向けて企画コーナーや出展社ブース、セミナープログラムの詳細などをお届けいたします！（写真は2026年2月号表紙。定期購読のお申し込みは info@studionow.jp へ）

PHOTO NEXT 2026

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

2026年6月16日(火)～17日(水)

パシフィコ横浜 B ホール

www.photonext.jp

主催：株式会社プロメディア
 主催団体：日本フォトイメージング協会
 一般社団法人日本写真映像用品工業会

特別協賛：日本営業写真機材協会

主要スケジュール

- ◎最終申し込み締め切り：2月27日(金)
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会：3月27日(金)
- ◎搬入日：6月15日(月)
- ◎会期：6月16日(火)～17日(水)

お得な情報をタイムリーにお届け！ 新公式 LINE アカウント



ぜひご登録ください→

・前号で、新しい公式 LINE アカウントについてご案内いたしました。出展社様にとっては、ブースで来場者様に LINE 登録いただくことで、データにて資料をお送りすることができたり、会期終了後も情報共有いただけます。

・来場者様にとっては出展社様とのつながりに加え、会期中はアウトレット出品やセミナー内容など、会場でタイムリーな情報をキャッチできます。

・ブースにて来場者様が QR コードをスキャンすると、出展社様が情報を発信したいカードメッセージが瞬時に提供されます。遷移ボタンを通じてカタログ PDF や EC サイト、SNS アカウントへの誘導、フォロー申請を促すことも可能となります。

・この機会に、ぜひご登録ください。出展をお申し込みいただいた各社様には、詳細やオプション料金などをご案内いたします。



ブースにて QR コードで LINE 登録することで、さまざまな情報が得られます。（写真はイメージ）

【使用システム概要】
 社名：findout.inc
 商品名：SAKINA CDP

NEXT INFO ③

● 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。

● vol.2 と vol.3 では、出展のお申し込み締め切りをアナウンスする目的で、印刷物にてお届けいたしました。今後の情報については公式サイトに掲載いたしま

す。更新時には公式 LINE アカウントや Instagram などでお知らせいたしますので、引き続きご注目ください。

● PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで（TEL：03-6302-0801、メール：info@photonext.jp）